

2022年3月期 第2四半期決算概要



日進工具株式会社

2021年10月29日
(証券コード6157)

目次

2022年3月期2Qの業績	P. 3 . . .	第2四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の増益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	四半期業績推移
<hr/>		
2022年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 17 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 18 . . .	投資指標
	P. 19 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 20 . . .	I R 情報サイトのご案内

2022年3月期 第2四半期の業績



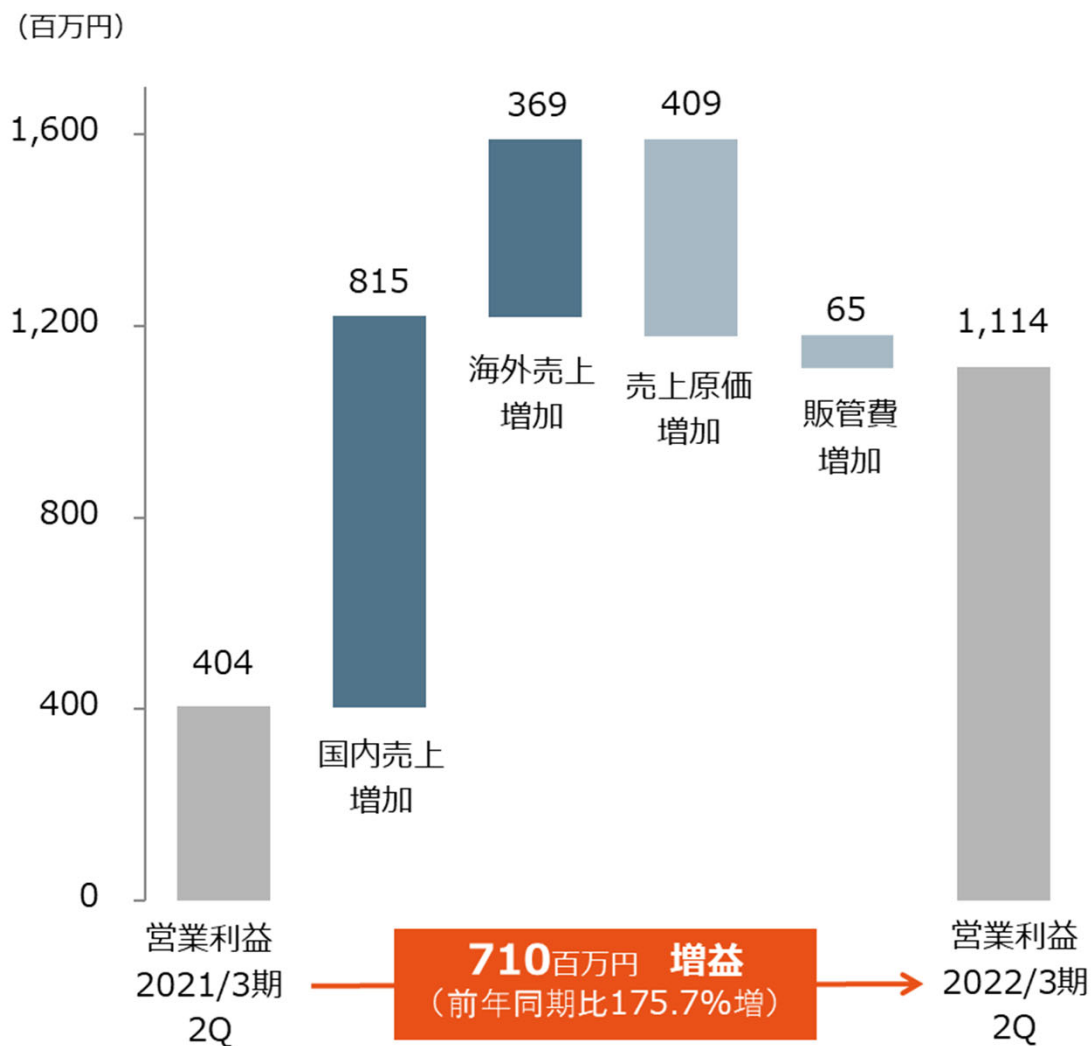
第2四半期決算（累計）の概要

上期業績予想は達成

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q累計	2022年3月期 2Q累計	2022年3月期 上期予想	達成率
売上高	3,635	4,821	4,650	103.7%
前年同期比	-26.3%	+32.6%	+27.9%	
営業利益	404	1,114	980	113.7%
前年同期比	-68.0%	+175.7%	+142.5%	
経常利益	444	1,130	990	114.2%
前年同期比	-64.9%	+154.6%	+122.9%	
四半期純利益	275	770	670	115.1%
前年同期比	-67.0%	+180.2%	+143.5%	

- 世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響があった前年同期から大幅に回復。電子部品、半導体関連の活況が継続、半導体製造装置等の機械関連も好調であったことにより、当四半期累計の連結売上高は4,821百万円と、前年同期比32.6%の増加となり、コロナ禍前である前々期の水準をほぼ回復。
- 連結経常利益は1,130百万円と、同154.6%の増加。
- 売上高経常利益率は23.5%となり、同11.3ポイント上回った。
- 7月に発表した上期の修正業績予想に対する達成率は、売上高が103.7%、経常利益は114.2%となった。

営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前年同期比815百万円、32.7%の増加、海外が同369百万円、同32.4%の増加となり、売上高全体では1,185百万円、同32.6%増加した。
- 売上原価は同409百万円、21.6%の増加と、売上高の増加率を下回った。前年度から注力してきた製造現場での強い体質づくりが奏功、原価低減につながっており、売上総利益率は52.1%と、前年同期比4.4ポイント増加した。
- 販管費は賞与引当金の増加等から人件費が前年同期比12.0%増加した一方、一般経費は展示会費が増加したものの営業経費は引き続き抑制気味に推移、前期に不動産取得税が発生していたこともあり同4.6%減少し、全体では65百万円、4.9%の増加に止まった。
- これらの結果、営業利益は同710百万円、175.7%増加の1,114百万円、売上高営業利益率は23.1%と前年同期の水準を12.0ポイント上回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2021年3月期 2Q累計	2022年3月期 2Q累計	前年同期比 増減率
売上高	3,635	4,821	+32.6%
売上総利益 対売上高比率	1,735 47.7%	2,511 52.1%	+44.7%
販管費 対売上高比率	1,331 36.6%	1,396 29.0%	+4.9%
営業利益 対売上高比率	404 11.1%	1,114 23.1%	+175.7%
経常利益 対売上高比率	444 12.2%	1,130 23.5%	+154.6%
四半期純利益 対売上高比率	275 7.6%	770 16.0%	+180.2%
設備投資額	150	173	+14.9%
減価償却費	352	332	-5.7%
従業員数（人）	344	349	+1.5%

- 売上高は4,821百万円と前年同期比32.6%の増加。半導体・電子・デバイス関連が好調を維持し、小径工具需要は堅調に推移した一方、自動車関連は半導体や部品不足の影響から各社減産を強いられる状況。
- 売上総利益は2,511百万円と同44.7%増加。原価低減により売上原価が同409百万円の増加に留まった結果、売上総利益率は52.1%と同4.4ポイントの増加。
- 販管費は人件費が増加した一方、一般経費が減少となり、全体で同4.9%の増加。売上高販管費比率は29.0%と同7.6ポイント低下。
- これらにより、営業利益は同175.7%増の1,114百万円、売上高営業利益率は23.1%と、同12.0ポイント上昇。
- 設備投資額は、同14.9%増の173百万円となった。前期に機械設備への投資をやや抑えたことから、減価償却費は同5.7%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2021年 3月期末	構成比	2022年 3月期2Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	10,895	64.3%	11,587	66.4%	+6.3%
現金及び預金	7,674	45.3%	8,417	48.2%	+9.7%
受取手形及び売掛金	1,312	7.7%	1,393	8.0%	+6.2%
棚卸資産	1,758	10.4%	1,703	9.8%	-3.1%
II 固定資産	6,040	35.7%	5,861	33.6%	-3.0%
有形固定資産	5,477	32.3%	5,296	30.4%	-3.3%
無形固定資産	34	0.2%	35	0.2%	+4.2%
投資その他の資産	529	3.1%	529	3.0%	-0.0%
資産合計	16,936	100.0%	17,448	100.0%	+3.0%
(負債の部)					
I 流動負債	1,385	8.2%	1,369	7.8%	-1.1%
買掛金	220	1.3%	291	1.7%	+32.2%
II 固定負債	224	1.3%	224	1.3%	-
負債合計	1,609	9.5%	1,594	9.1%	-1.0%
(純資産の部)					
自己資本合計	15,142	89.4%	15,638	89.6%	+3.3%
純資産合計	15,326	90.5%	15,854	90.9%	+3.4%
負債・純資産合計	16,936	100.0%	17,448	100.0%	+3.0%

流動資産

業績回復に伴う現金及び預金の増加等により、前期末比6.3%増加。

固定資産

大きな設備投資も無く減価償却費が上回り、同3.0%減少。

負債

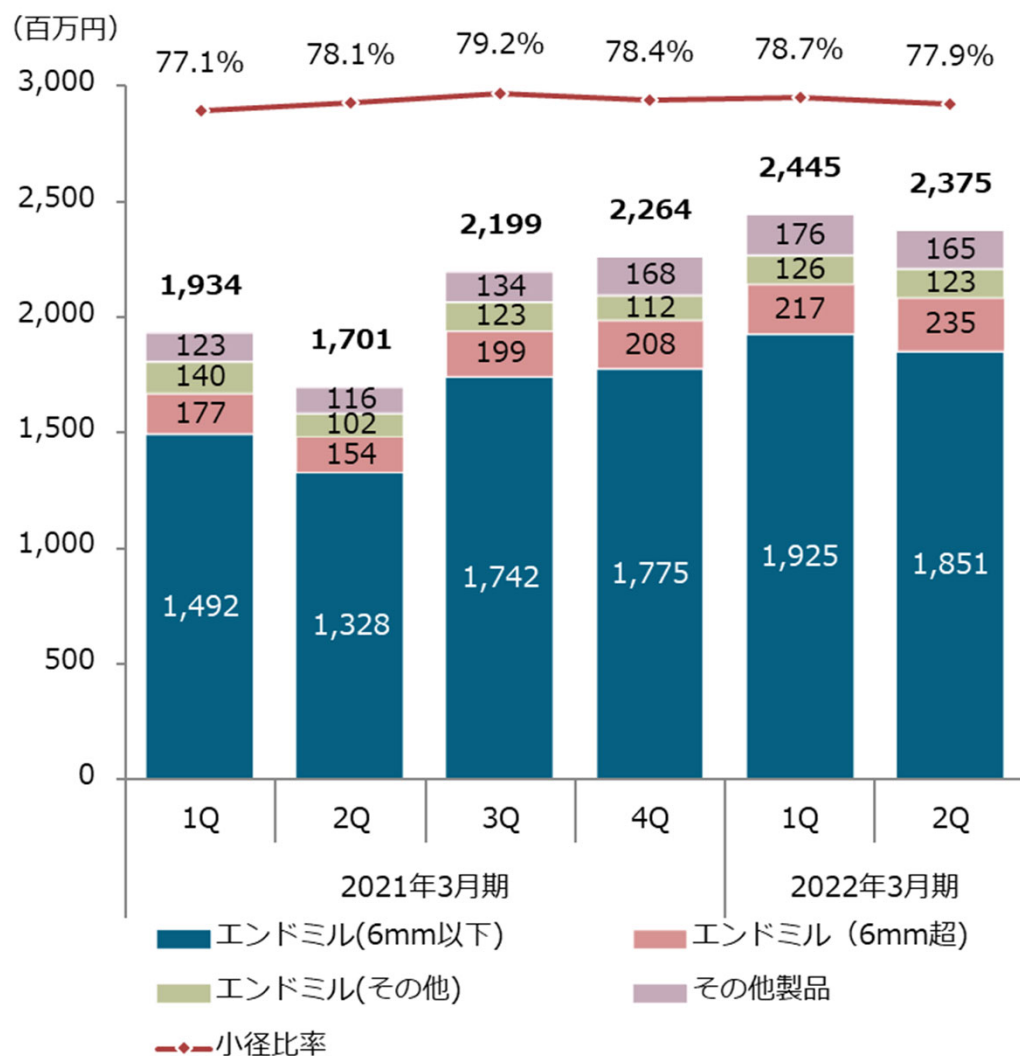
未払法人税等の増加等があった一方、未払消費税等や役員賞与引当金の減少等により同1.0%の減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同3.4%増加。自己資本比率は89.6%と0.2ポイント上昇。

四半期業績推移（売上高の推移①） 製品別

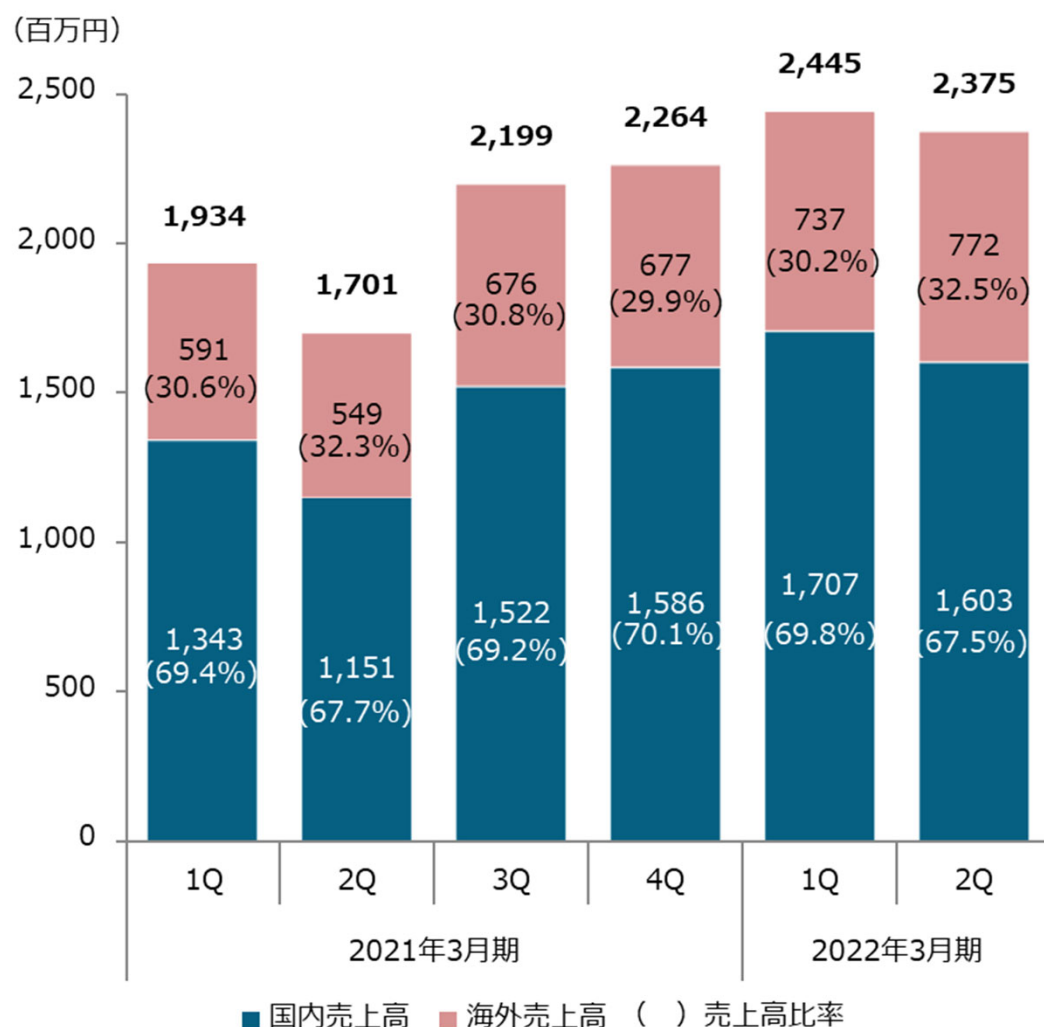
製品別売上高と小径比率の推移



- 電子部品・半導体関連は、IT機器や産業機械向け等の需要が途切れず、活況が継続。特に半導体製造装置や半導体用金型等は好調に推移した。一方、自動車関連は半導体や部品不足の影響から各社減産を強いられる状況となった。
- 連結四半期売上高は2,375百万円と前年同期比では39.6%増加したものの、自動車産業における減産が影響し、前四半期比で2.9%の減少となった。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年同期比39.4%の増加、エンドミル（6mm超）も同52.7%増加、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同20.3%増加した。工具ケース等のその他製品も、同42.1%の増加となった。小径以外の工具の伸びが大きかったため、小径比率は77.9%と同0.2ポイント低下した。

四半期業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

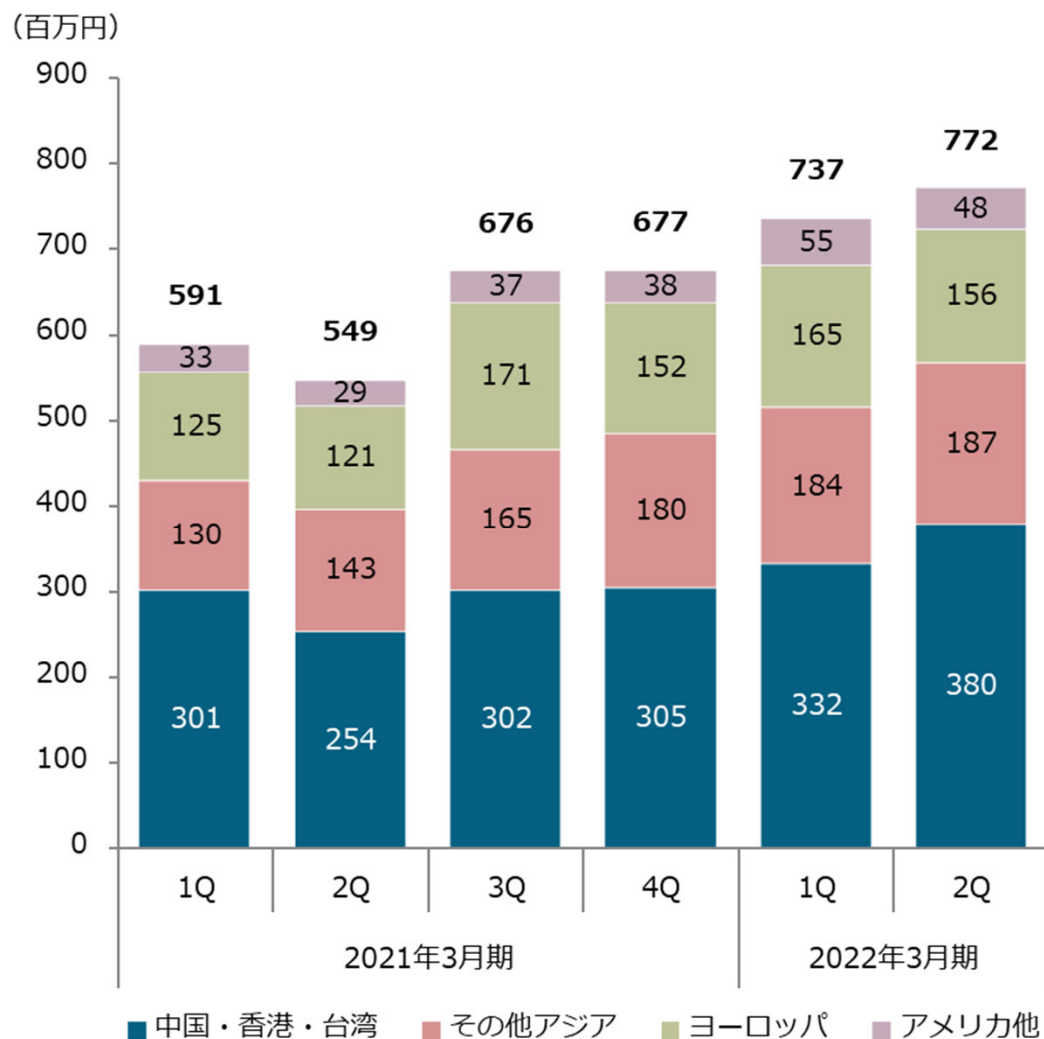
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比では451百万円、39.2%増加し1,603百万円、海外売上高は同222百万円、40.6%増加し772百万円であった。前年同期は最終需要減と流通在庫削減の動きから国内販売が大きく低迷したが、前年度下期以降徐々に正常化。
- 海外売上高は中華圏を中心に回復、前四半期比でも4.7%増となり、海外売上高比率は前四半期比2.3ポイント増加の32.5%。
- 海外売上比率は10年前が20%弱、5年前でも20%台前半であったが、2019年の7-9月期に中国向けの増加等から34.3%と30%を超え、以後は30%前後での推移が続いている。

四半期業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

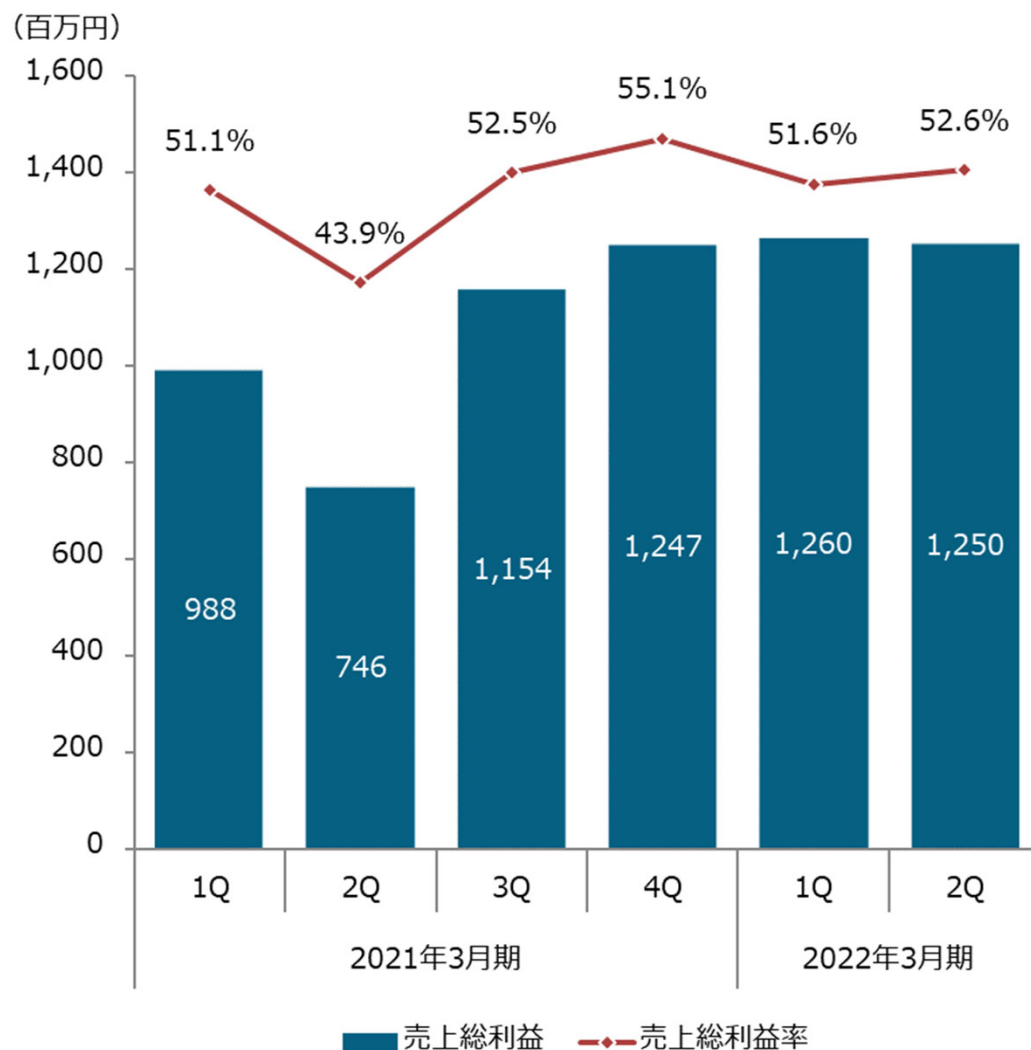
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比49.6%増加の380百万円。日進工具香港の連結に絡み当四半期の中国向けの数字は4-6月分。前年同期は新型コロナウイルスの影響により売上高が大きく減少したが、例年この時期は中国でのスマートフォン向けの需要が高まるため、当四半期は売上高が大幅に増加した。
- その他アジアも前年同期が新型コロナウイルスの影響から大きく落ち込んだ影響もあり同30.9%増加の187百万円。
- ヨーロッパも同様に同28.0%増加の156百万円となったが、半導体不足による自動車産業への影響が出始めていることから、前四半期比では5.8%減少した。
- アメリカ他は医療関係の受注が増加していることもあり前年同期比61.4%増加の48百万円。当期の影響は軽微であるが、新規設立予定の米国子会社を中心に販売強化を図る。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

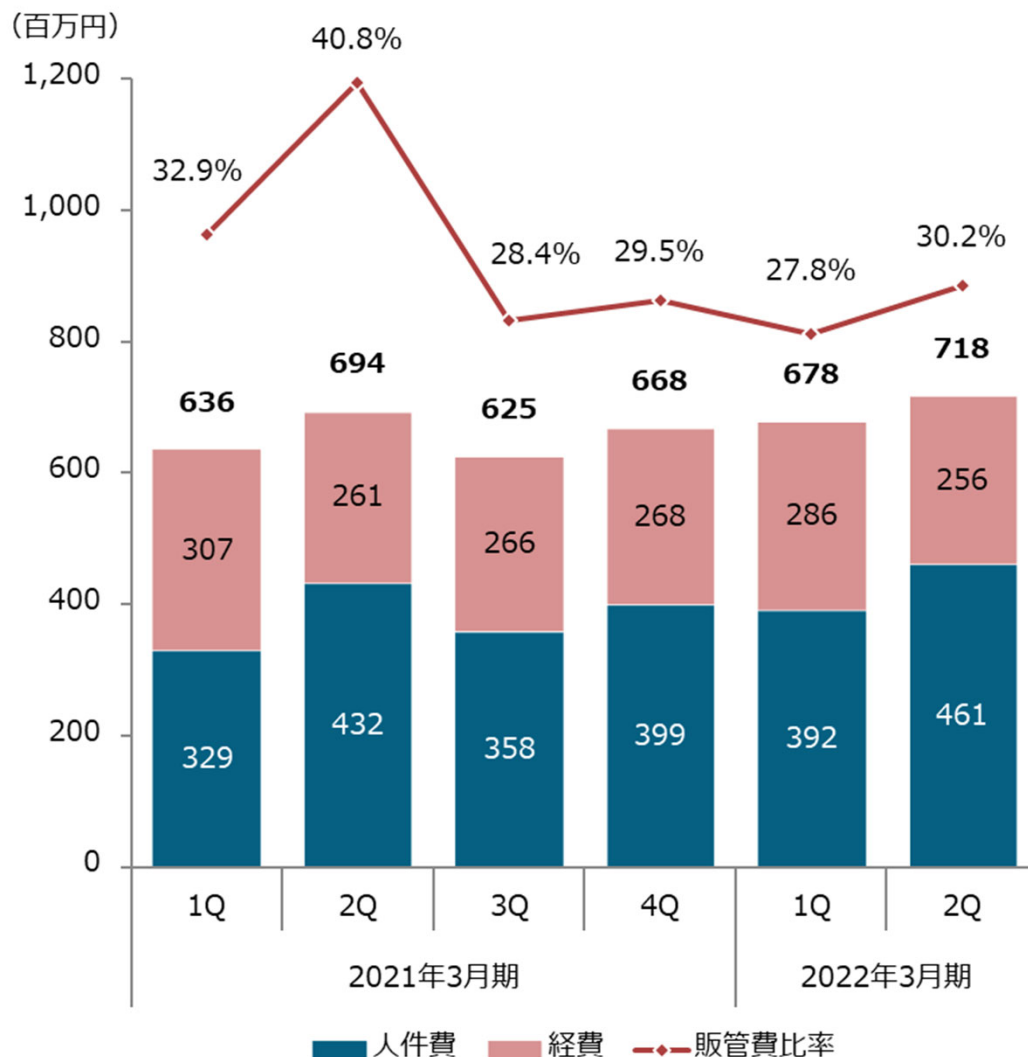
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高が前年同期比39.6%増加したことに対し、売上原価は同17.9%の増加に止まった。売上高の回復に伴い生産量を引き上げたが、前年度からの施策が奏功し原価低減が実現してきている。
- 材料費は同110.3%増、外注加工費も同89.5%増と変動費は大きく増加し、労務費や製造経費は同21.0%、同11.1%と、変動費ほどの割合ではないものの、それぞれ増加した。
- 製品在庫は、前年同期末は最終需要減と流通在庫削減の動きを受け帰休による生産減を実施した結果、前四半期末より211百万円減少していたが、当四半期においては第1四半期末比で75百万円増加。売上原価は1,125百万円と、前年同期比17.9%増加した。
- これらにより売上総利益は同67.4%増の1,250百万円、売上総利益率は52.6%と同8.7ポイント増加した。

四半期業績推移（販管費の推移）

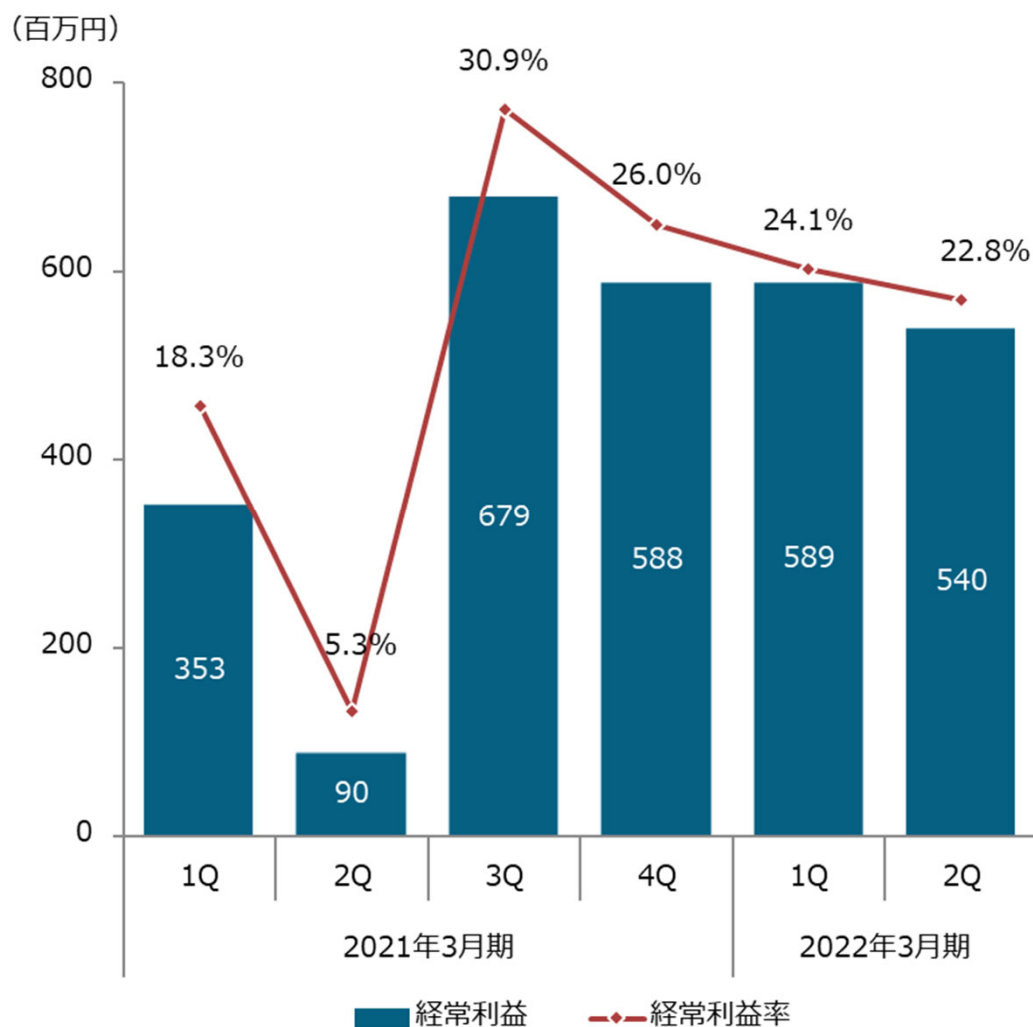
販管費と販管費比率の推移



- 一般経費は、行動抑制が継続する中、営業経費が引き続き低位に推移し、また大規模な展示会も国内1件に留まった上、2021年3月期に設備投資をやや抑えたことから減価償却費が減少、また役員保険の解約により保険料が減少したこと等から、前年同期比1.9%減の256百万円となった。
- 人件費は、業績の回復に伴う賞与引当金の増加等から同6.6%増の461百万円。なお、毎年7月に株式報酬費用を計上していることから、例年、第2四半期はその他の四半期より多額となる。
- 販管費全体では同3.4%増の718百万円となったが、売上高の増加が大きく、売上高販管費比率は30.2%と同10.6ポイント低下した。

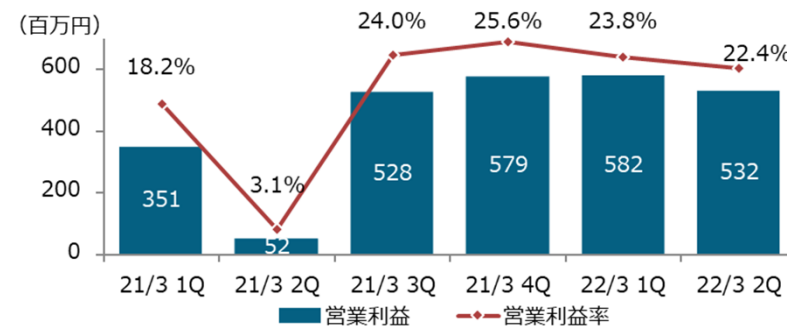
四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- コロナ禍で最悪の業況となった前年第2四半期から順調に回復中であり、営業利益は同917.1%増の532百万円と大きく増加。
- 営業外損益では、作業くず売却益による収益が4百万円、日進工具香港における為替差損等により費用が3百万円発生し、経常利益は540百万円、同497.6%の増加。なお2021年3月期第3四半期は、助成金収入や生命保険の解約より営業外収益が151百万円と多額であったことから経常利益が押し上げられた。
- 売上高経常利益率は22.8%と前年同期と比較して17.5ポイント上昇した。ただし、前四半期と比べると賞与引当や株式報酬等、販管費の増加により1.3ポイント低下した。

(参考) 営業利益と売上高営業利益率の推移



2022年3月期の業績予想



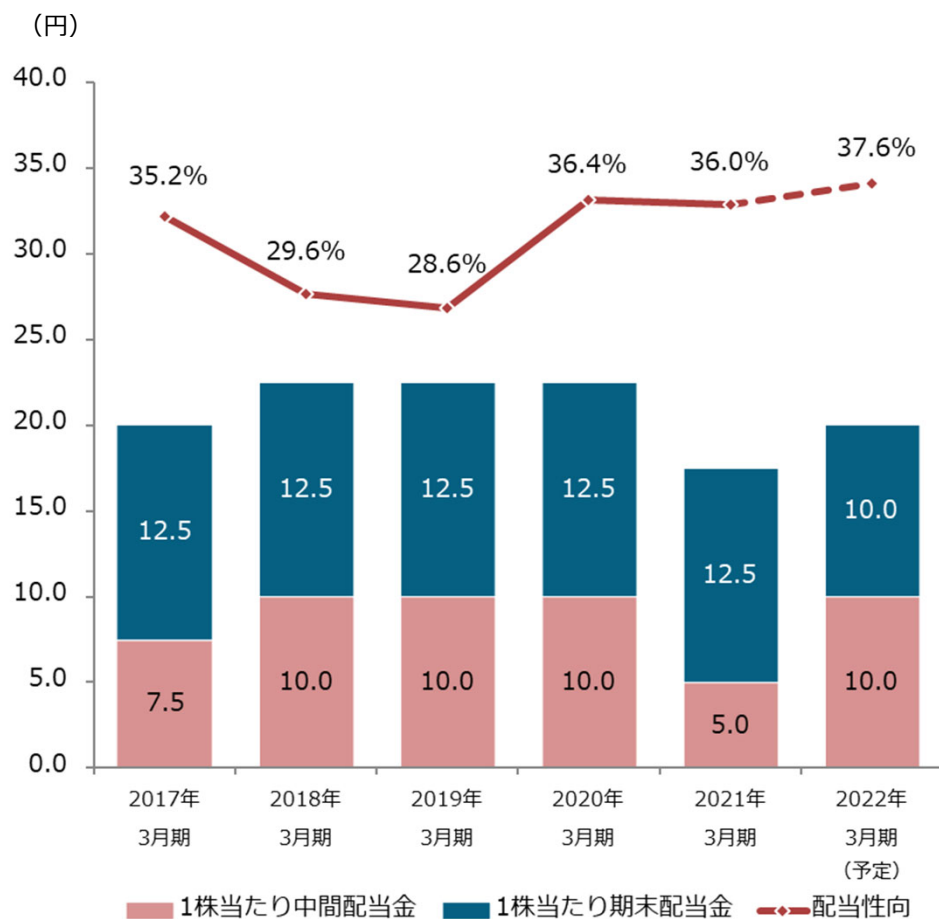
業績予想

(単位：百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	8,100	9,170	+13.2%
営業利益	1,512	1,920	+26.9%
経常利益	1,712	1,930	+12.7%
当期純利益	1,214	1,330	+9.5%
設備投資額	462	589	+27.6%
減価償却費	707	713	+0.9%
EPS (円)	48.55	53.14	+9.5%
1株当たり配当金 (円)	17.50	20.00	+14.3%

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

- 上期業績予想は達成したが、第3四半期以降、新型コロナウイルスの帰趨、半導体や部材不足による生産活動全般への影響、業界においては特定の製品分野で価格競争の動きがあること等、不透明な要因が多いことから、通期予想は据え置いた。
- 売上高は前期比13.2%増加の9,170百万円、営業利益は同26.9%増加の1,920百万円、経常利益は前期に発生した営業外収益が見込まれないため、同12.7%増加の1,930百万円とした。
- 設備投資は製品品質や生産効率の向上を図る機械設備の継続的な導入が中心。2021年3月期は減産により絞り気味としたが、2022年3月期はほぼ例年の水準となる見込み。
- 1株当たり配当金は、中間配当金10円、期末配当金10円の年間配当金20円を予定。

配当予想（株主還元について）



※2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2021年3月期の1株当たり年間配当金は17.5円。
中間配当5円、期末配当12.5円
配当性向は36.0%
※2021年4月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を考慮しています。
- 2022年3月期の1株当たり年間配当金は20円を予定。
中間配当10円、期末配当10円
業績予想に対する配当性向は37.6%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1単元（100株）以上を保有する株主様を対象にオリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を追加で贈呈。

參考資料

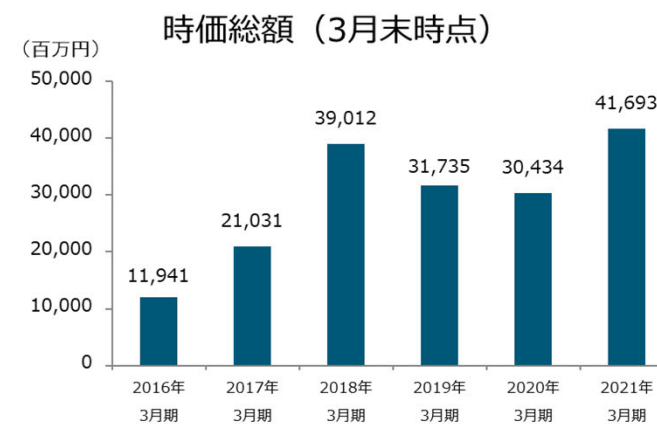
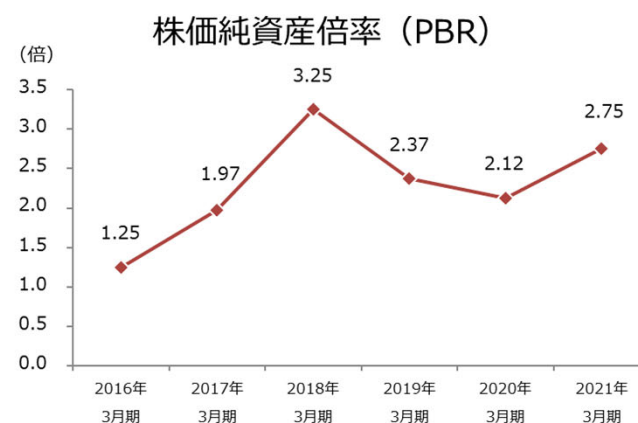
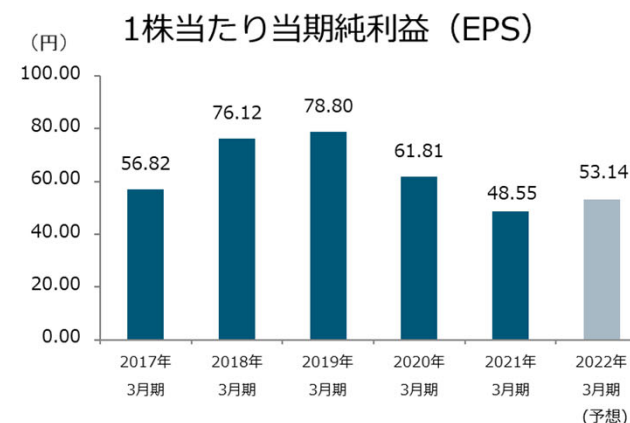
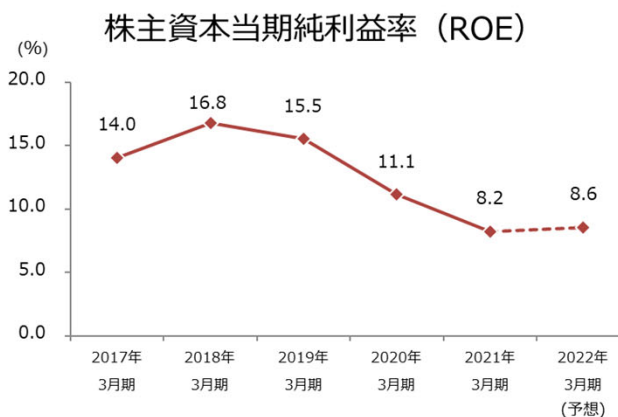
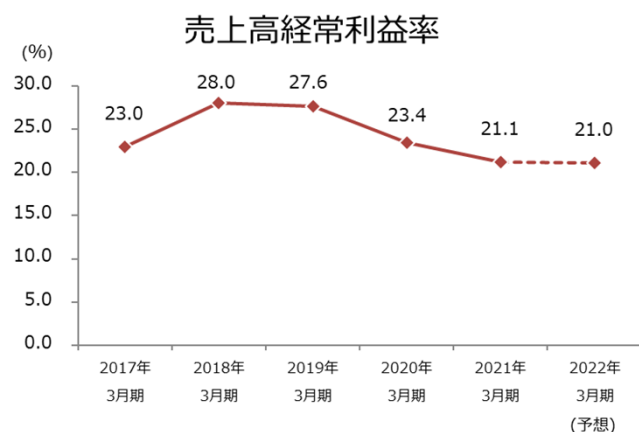


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績
売上高	8,825	9,767	10,476	9,531	8,100
営業利益	2,013	2,695	2,879	2,219	1,512
営業利益率	22.8%	27.6%	27.5%	23.3%	18.7%
経常利益	2,026	2,733	2,894	2,231	1,712
経常利益率	23.0%	28.0%	27.6%	23.4%	21.1%
当期純利益	1,420	1,903	1,970	1,545	1,214
当期純利益率	16.1%	19.5%	18.8%	16.2%	15.0%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	10,666	12,002	13,461	14,498	15,326
総資産額	12,517	14,467	15,381	16,017	16,936
自己資本比率	85.2%	83.0%	87.1%	89.7%	89.4%
設備投資額	774	663	1,268	1,755	462
減価償却費	632	625	629	698	707
1株当たり配当金（円）	20.00	22.50	22.50	22.50	17.50
従業員数（人）	322	338	343	338	339

※2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

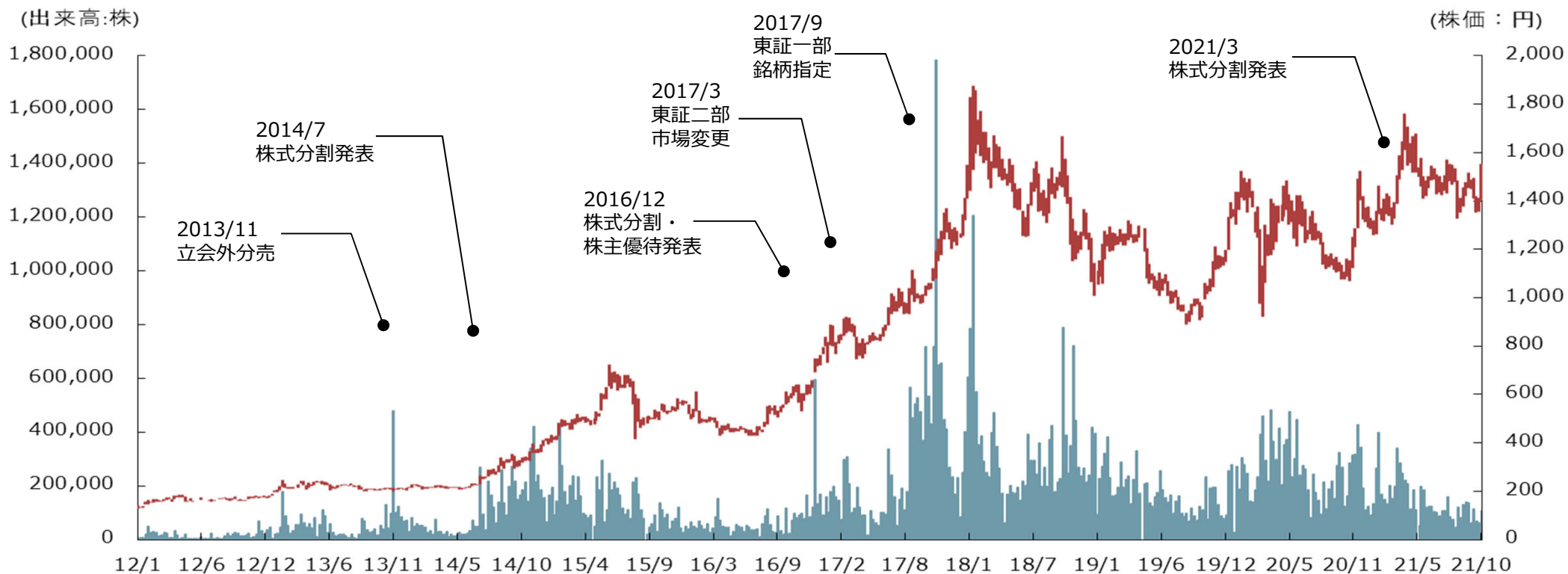
投資指標



※ 2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2021年10月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2021年10月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	372億円
ROE (21/3期実績)	8.2%

単元株価格	14万8,800円
PER (22/3期予想)	28.00倍
PBR (21/3期実績)	2.46倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR Information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation bar, there is a breadcrumb trail 'TOP > IR情報'. The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報', with the stock code '東証一部 コード: 6157'. The page is divided into two main sections: 'IRトピックス' (IR Topics) on the left and 'IR情報' (IR Information) on the right. The 'IRトピックス' section lists several reports with dates and file sizes, such as 'Business Report for the Fiscal Year Ended March 31, 2021(English)[PDF] (7,526KB)' and 'SRアナリストレポート (2022年3月期第1四半期) [PDF] (3,144KB)'. The 'IR情報' section includes links for 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', and a list of categories with expandable icons: '+ 経営方針・体制', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ IRイベント', and '+ 株式情報'.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。